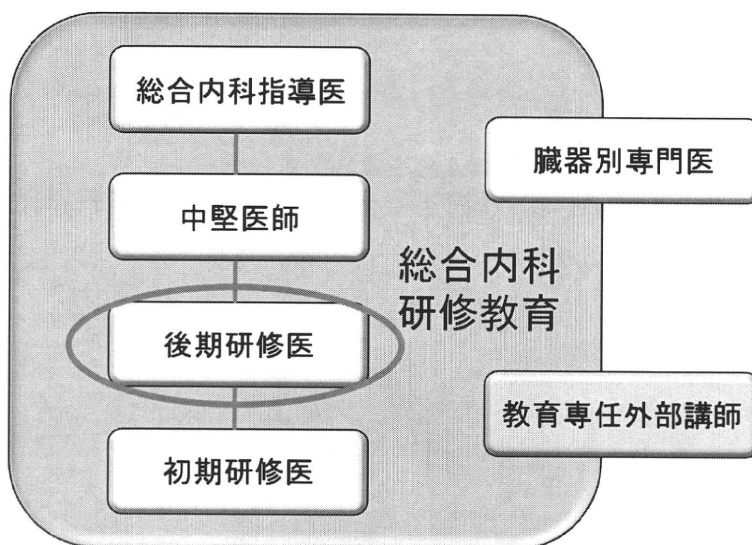


## 2. 指導法と指導医について

総合内科の病棟診療は屋根瓦式のチームとして診療にあたり、そこに臓器別専門医と教育専任外部講師がかかわるという体制をとっています。病棟患者のほとんどは総合内科医が主治医として担当することにより、専門医はその専門知識や技術に集中することができます。その代わりに総合内科医や研修医の専門分野におけるコンサルテーションや教育に携わっています。バックに専門医が控えているため安心して専門的な知識を必要とする患者でもマネージメントすることが可能です。

このように総合内科医は決して逃げたはけません。自分たちが責任を持ちつづけ専門医のサポートをすかわりに教育をうける、という関係により良好な Specialist-generalist relationship ができあがるのです。そのためにはたくさん勉強する必要があります。

### (1) 指導体制の概略



みなさんは、丸で囲まれた後期研修医というポジションです。

### (2) 指導医

#### ① 総合内科指導医

- 阿部、濱口、高橋、大友

#### ② 中堅医師

- 山田(和)、若林

#### ③ 臓器別専門医

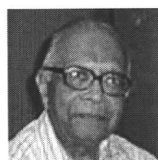
- 消化器内科: 渡邊
- 循環器内科: 山田、青木
- 血液・糖尿病内科: 西嶋

#### ④教育専任外部医師

国内外から臨床力と教育力にすぐれた Clinician educator を招聘しております。総合内科に必要な広い知識にさらに奥深さを与えてくれます。

平成 21 年度実績

- Robin Bailey 先生 感染症・熱帯医学 ロンドン
- Rebecca Harrison 先生 病棟総合医学 オレゴン
- Kishor Shah 先生 循環器 ボンベイ
- 伊賀幹二先生 循環器 西宮
- 北海道大学第一内科から呼吸器学専門医 7 名



#### (3)カンファレンス、回診など

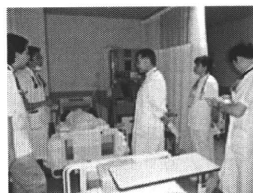
##### ①カンファレンス

- 新患カンファレンス→1 週間の新患の紹介
- 管理カンファレンス→患者全員の把握
- 教育カンファレンス→臨床推論を使った症例検討
- 倫理カンファレンス→入院患者の他職種による話し合い(4 分割表を使用)
- 専門カンファレンス(消化器、循環器)→専門医にコンサルテーション
- 訪問診療カンファレンス→往診患者についての話し合い
- 外科カンファレンス→手術が必要な患者についての相談



##### ②回診

- 管理回診→患者全員の把握
- 教育回診→臨床推論を使った症例検討
- グループ回診→朝のグループ内での作戦立て
- フィジカル回診→身体診察の回診

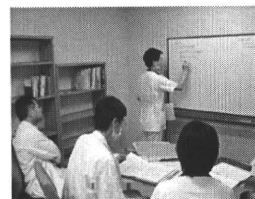


##### ③勉強会

- 抄読会(ジャーナルクラブ)(週 2 回)→有名雑誌、ケースレポートなどの抄読
- 症例検討会(週 1 回)→Clinical problem solving 方式のカンファレンス
- インターネットプライマリケアシリーズ(週 1 回)→北海道内外の施設でのネットレクチャー
- M&M カンファレンス(月 1 回)→症例の振り返り
- CPC(月 1 回)→剖検後の検討会
- 医学英語教室(週 1 回)→北海道一の医学英語教育

##### ④その他

- 内視鏡実習
- Eコー実習



#### (4) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
-7:30	プレ回診	プレ回診	プレ回診	プレ回診	早期抄読会(6:30) プレ回診
7:30-8:00	連絡会議	ジャーナルクラブ (月曜日休みの場合は連絡 会議)	インターネットカンファ (症例検討・クイズ・抄読会)	インターネットカンファ (PCLS)	連絡会・症例相談
8:00-8:45	グループ回診	グループ回診	グループ回診	グループ回診	グループ回診
8:45-11:00	外来、病棟、検査、救急	外来、病棟、検査、救急	外来、病棟、検査、救急	外来、病棟、検査、救急	外来、病棟、検査、救急
11:00-12:30		教育カンファ回診			教育カンファ回診
12:30-13:30	ランチョンカンファ (研修医室)	ランチョンカンファ (研修医室)	ランチョンカンファ (研修医室)	ランチョンカンファ (研修医室)	ランチョンカンファ (研修医室)
13:30-14:00	外来、病棟、検査、救急	外来、病棟、検査、救急	外来、病棟、検査、救急	訪問診療/倫理カンファ	フィジカル回診
14:00-15:30				外来、病棟、検査、救急	外来、病棟、検査、救急
15:30-16:00			循環器カンファレンス	管理カンファカンレンス 週末申し送り	
16:00-16:30	管理回診(西5、西4)	管理回診(東5)			
16:30-17:00	病棟残務	新患カンファレンス	外科カンファ	病棟残務	消化器カンファ
17:00-17:30		病棟残務	病棟残務		病棟残務
17:30-18:00	心電図読影会	病棟残務	心電図読影会	病棟残務	心電図読影会
18:00-19:00		外来患者フィードバック (後期研修医)	症例検討会	医学英語	病棟業務

週間スケジュールはその時期で多少の変更があります。

基本的に朝勉強→昼間働き→夕方勉強です。

#### (5) その他: 後期研修生活の実態は?

- ①受け持ち患者数: 10人前後
- ②1日の新入院患者: Max2名まで
- ③抄読会や症例検討会の担当は1~2カ月に1回当たる
- ④Work-life balance→働くときは一生懸命働き、休む時はしっかり休む
  - 平日夜間拘束当番は週1回程度
  - 休日当番は月1回程度
  - 勤務時間以外は基本的に当番医に任せて基本的にフリー。

#### ⑤ 宿舎のこと

病院から歩いて5分のところにある賃貸住宅。2LDK;30000/月、4LDK;35000/月。満室の場合は民間賃貸住宅を斡旋します(病院から補助が出ます)。

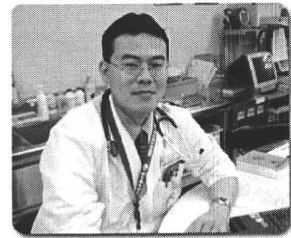
## 3. 評価(フィードバック)について

### (1) 指導医からの On-the-job evaluation

指導医から逐次フィードバックがあります。指導医や中堅医師のほとんどは指導医講習会を終了しておりますので効果的なフィードバックを行う予定です。

### (2) 外部から医学教育の専門家を定期招聘(約3カ月に1度)

錦織 宏(にしごり ひろし)先生 (東京大学医学教育国際協力センター)



ポートフォリオ発祥の地である Dundee 大学大学院で医学教育学修士を取得し、全国の有名研修施設での医学教育に携わっています。

江別市立病院でも日ごろのフィードバックのまとめとして、ポートフォリオの作成をサポートや研修目標に基づいたフィードバックをおこないます。また教育回診もしてくれます。

## 【研修後のキャリアについて】

江別市立病院の総合内科後期研修を終えた後のキャリアとしていくつかの選択肢を紹介します。

### ①スタッフとして残る。

現在、北海道の地方病院に医師チームを数年交代で派遣する循環型システムも計画しており、勤務期間を終えた後にはまた江別に戻りフィードバックを行います。

### ②地方病院にある期間勤務する。

江別で学んだことの実力試しです。松前町立松前病院、厚岸町立病院、道立羽幌病院、利尻島国保中央病院などの地方病院には江別の指導医と同門の指導医が勤務しております。

### ③大学院進学

札幌医科大学地域医療総合医学講座との提携により研究、博士号取得が可能です。

### ④熱帯医学国際医療協力

長崎大学熱帯医学研究所内科との提携により、途上国での研究などが可能です。

### ⑤家庭医療学

北海道家庭医療学センターとの提携により家庭医療後期研修ならびに家庭医療フェロースhipへの進路があります。

### ⑥その他

留学についても相談にのります。

## 【おわりに】

江別市立病院の総合内科後期研修はすべて「病院の」というキーワードが関係しております。つまり常に入院診療を意識した診療と教育という意味です。そこが家庭医療学の守備範囲と大きく異なるところで

す。  
例えば、外来診療のに関していうと、クリニックや診療所に受診する患者と病院に直接来院する患者とはその重症度、患者背景などで何らかの差があると考えられます。往診に関しても入院施設を持たないクリニックや無床診療所でカバーできる患者群と、いつでも入院をさせることができる「病院からの往診」でカバーが必要な患者群とは異なります。このように診療、教育のすべてが「入院医療」と結びついた形で行われているわけです。

多種類の問題を抱える患者の入院医療はとても大変です。しかし総合内科という分野はそれに挑む尊いプロフェッショナルであると言えます。特に北海道では無床診療所の数は右肩上がりに増え続けている一方で、入院医療をおこなう有床診療所や病院からは医師が次々と撤退しているのが現状です。したがって入院患者もマネージメントできる総合内科医の育成は、現在最も求められているものと考えます。皆さんもこの志高き集団の一員として研鑽を積んでいきましょう！



